

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス かざみどり拓勇		
○保護者評価実施期間	令和6年3月1日		～ 令和6年3月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	令和6年3月1日		～ 令和6年3月8日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年3月21日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	就労体験プログラム(お仕事体験)を取り入れている。	・自立に向けた支援を中心に自己理解や働くことへの意識づくり、余暇の楽しみ方を促す支援を行っている。	・対象児童に合わせて、プログラムを変更し実施していく。
2	季節に応じた行事やイベントを取り入れている。	・季節に合わせた行事やイベント等を年間行事に取り入れている。 ・それぞれの活動や行事、イベント等を通信でお知らせしたり、SNSでの発信、動画作成をして、定期的に保護者にお伝えしている。	・現在を行っていることを継続して行っていく。
3	保護者と意思疎通ができています。	・送迎時にその日1日の児童の様子を伝えている。また気になることがある際には積極的に保護者に尋ねている。	・現在を行っていることを継続して行っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや地域の子ともと交流する機会が少ない。	・交流センターや公園等の利用はしているが、活動の一環としての利用となっていた。	・地域のイベントの参加、連携方法を考え、交流を図るきっかけを作っていきたい。子どもに限らず老人ホーム等も考慮し交流を図っていきたい。
2	家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング)や家族等も参加できる研修会や情報提供を行っていない。	・家族に対する支援や研修等を職員が把握できておらず、行えていなかった。	・職員が「ペアレント・トレーニング」に対する知識を得られる研修を行い、今後家族向けの研修等を積極的に行っていく。
3	子ども達の活動量に対して療育室のスペースが狭く感じる。	・基準は満たしているが、支援内容や活動プログラムによって狭く感じる時がある。	・療育室のレイアウトの変更や地域の体育館等の場所を借りて、子どもたちが安心して体を動かせる場所を作っていく。